

(様式3)

公共事業再評価調書

番 号	道路-3		事業担当局課	道路局 建設課			
事業名	都市計画道路横浜藤沢線整備事業(上永谷地区 外1)			採択年度	H1		
施工場所	港南区丸山台四丁目～戸塚区舞岡町			経過年数	25年		
目的及び 事業概要	目的 横浜藤沢線は、本市の幹線道路網の骨格を形成するものとして位置付けられ、環状2号線から鎌倉市境を連絡する約7.3kmの重要な路線です。舞岡上郷線、桂町戸塚遠藤線、環状3号線、環状4号線と連絡し、南部地域の交通の円滑化を図られます。本地区を整備することにより、環状2号線と桂町戸塚遠藤線が接続し、道路ネットワークが形成されるため、周辺地域の渋滞を解消し、交通利便性の向上を図ります。 なお、本事業は再評価を平成10、15、17、20年度に実施しています。						
	事業概要 計画延長1,910m(上永谷地区:920m、上永谷舞岡地区:990m) 幅員32～48m、[標準幅員32m](往復4車線)、用地面積99,515㎡						
			当初(事業採択時)		変更(平成25年度)		
	事業期間		平成1年度～平成24年度		平成1年度～平成30年度		
	事業費	合計		17,350百万円		20,102百万円	
		国費		8,675百万円		10,051百万円	
		市費		8,675百万円		10,051百万円	
	変更内容		地盤が当初の想定より軟弱であったため、地盤改良や杭併用の構造物を採用する必要が生じ、事業費が増加しました。				
	上位計画等の位置付け		本市の「中期4か年計画」において、「基本政策 施策27 交通ネットワークの充実による都市基盤の強化」として、都市計画道路の整備が位置付けられています。 また、本市の減災対策として今年度策定された「横浜市地震防災戦略」においても、「緊急輸送路等の整備」として、幹線道路の整備が位置付けられています。				
	関連事業		当該地域では、横浜藤沢線に並行して上永谷線(自転車歩行者専用道路)も事業を進めており、道路ネットワークのほか歩行者ネットワークも形成されます				
事業の 必要性	事業を巡る社会経済情勢等の変化		隣接する桂町戸塚遠藤線が供用開始し、環状2号線や舞岡上郷線などの幹線道路と連絡し、本市南部地域の交通の円滑化を図る上でも、本路線の重要性が高まっている。接続する上永谷戸塚線が、平成24年度に「都市計画道路網の見直しの素案」に基づき、一部区間を廃止しました。				
	事業の投資効果		事業全体		残事業		
			割引率		4%(2%)		
			総便益(B)		854億円(1,342億円)		—
			総費用(C)		244億円(183億円)		—
			費用便益比(B/C)		3.5(7.3)		—
			感度分析 [交通量-10%]		1.9(4.0)		—
	[その他特記事項]						
B/Cの算定にない事業効果		横浜藤沢線に並行して上永谷線(特殊街路)が計画されているため、歩行者の安全確保等が図られます。また、圏央道へ接続されることで、本市南部地域はもとより広域的にも交通機能が強化され、物流の円滑化が図られるとともに、災害時の緊急輸送路としての整備効果が期待できます。					
残事業の内容		—					

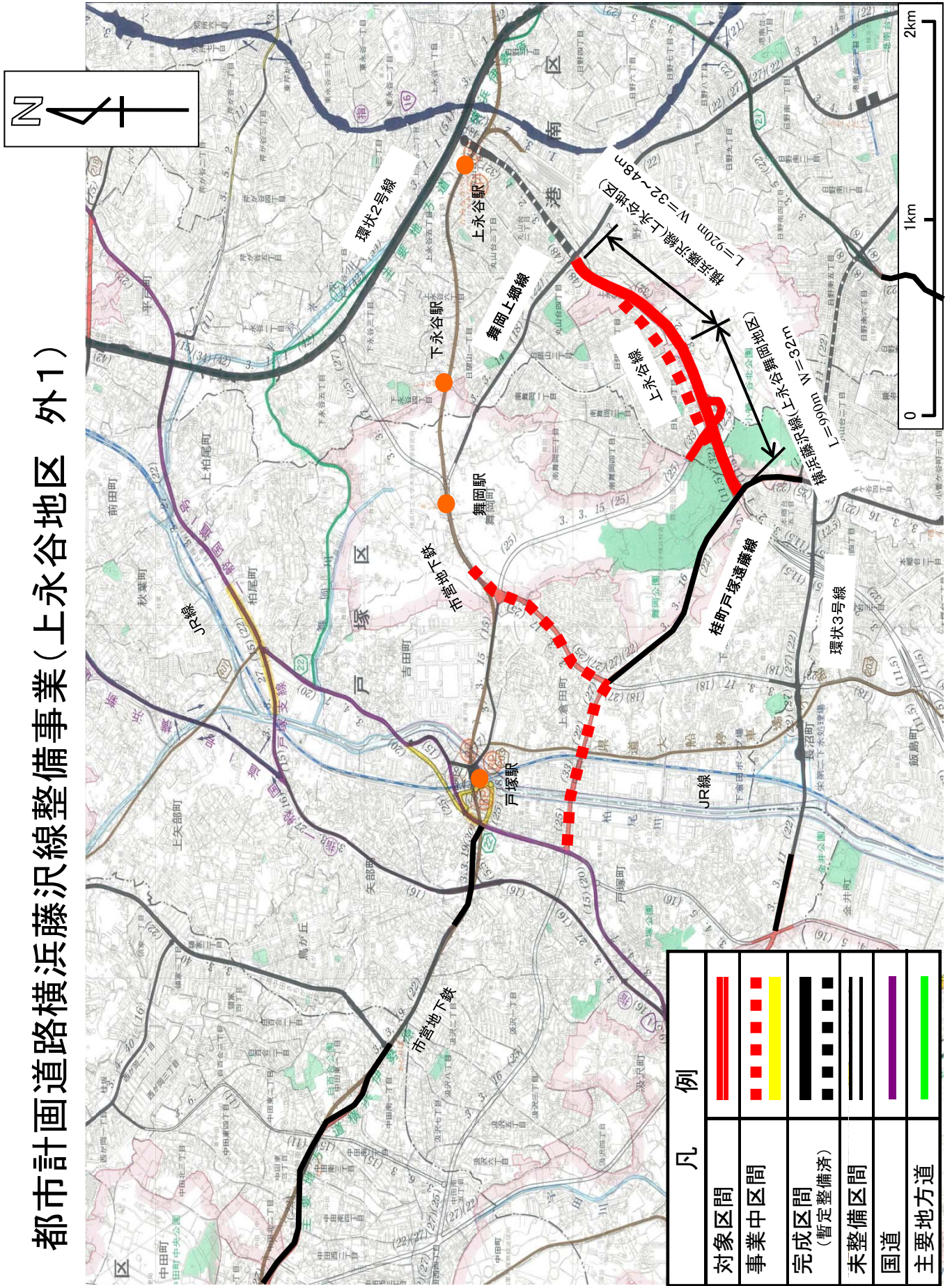
事業の進捗状況	事業進捗率%	平成 24 年度までに 99%の用地を取得しており、現在、残す用地取得を行っています。 工事についても、引き続き、土工事・擁壁工事を行い、平成 30 年度の完成を目指します。	
	67%		
	用地取得率%		
	99%		
	供用等の状況		
—			
事業の課題及び進捗見込み	本路線と交差する生活道路の橋梁化工事が今年度完成する見込みであることから、今後は順次工事を実施し、平成 30 年度に供用開始する予定です。		
代替案立案等の可能性	—		
その他コスト削減項目等	施工時においては、建設発生土の工事間流用を行い、運搬費及び残土処理費のコスト削減を行うとともに、舗装、構造物についても、設計段階から可能な限りコスト削減に努めます。さらに、隣接する上永谷線と工事進捗を合わせることで、仮設材の減量化など間接費を含め、コスト削減を図ります。		
過去の委員会からの意見等	委員会年度	意見具申等	意見具申等に対する対応状況
	平成 15 年度	緑化の充実を図るとともに短期で効果的な道路ネットワークを形成すること。	緑化等に配慮しながら道路整備を行い、短期で効果的な道路ネットワーク形成に努力しています。
	平成 20 年度	特になし	—
その他	—		
対応方針(案)	継続	計画通り(上記計画を実施)※1	
		一部見直し(上記計画を変更)※2	
		【見直し内容】	
中止			

対応方針案とした理由	本市が重点的に整備を進めている路線として、本市道路網の形成に大きな効果が期待できることから、早期に事業完了を図る必要性があります。また、用地取得も残り僅かであり、本路線と交差する生活道路の橋梁化工事が今年度完成する見込みであることから、本格的工事着手への見通しが立っています。以上の理由より、事業を継続実施する必要があると判断します。
------------	---

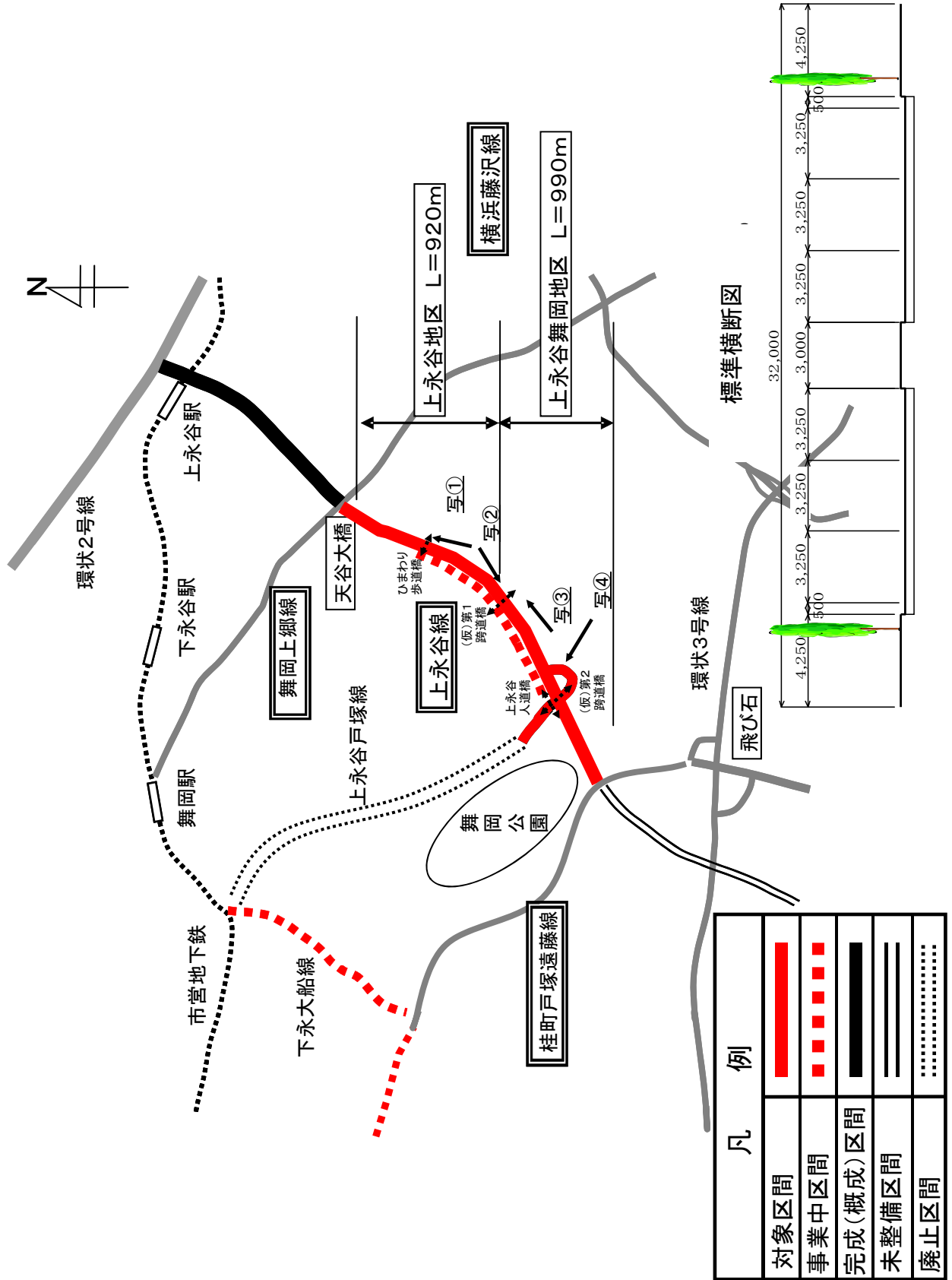
※1:既に見直し内容が確定している場合は、こちらを選択してください。前の再評価で「継続(一部見直し)」の事業についても、その見直し内容が確定している場合は、こちらを選択してください。

※2:今後、見直しを行うことが確定している事業は、こちらを選択し、見直し内容を記載してください。

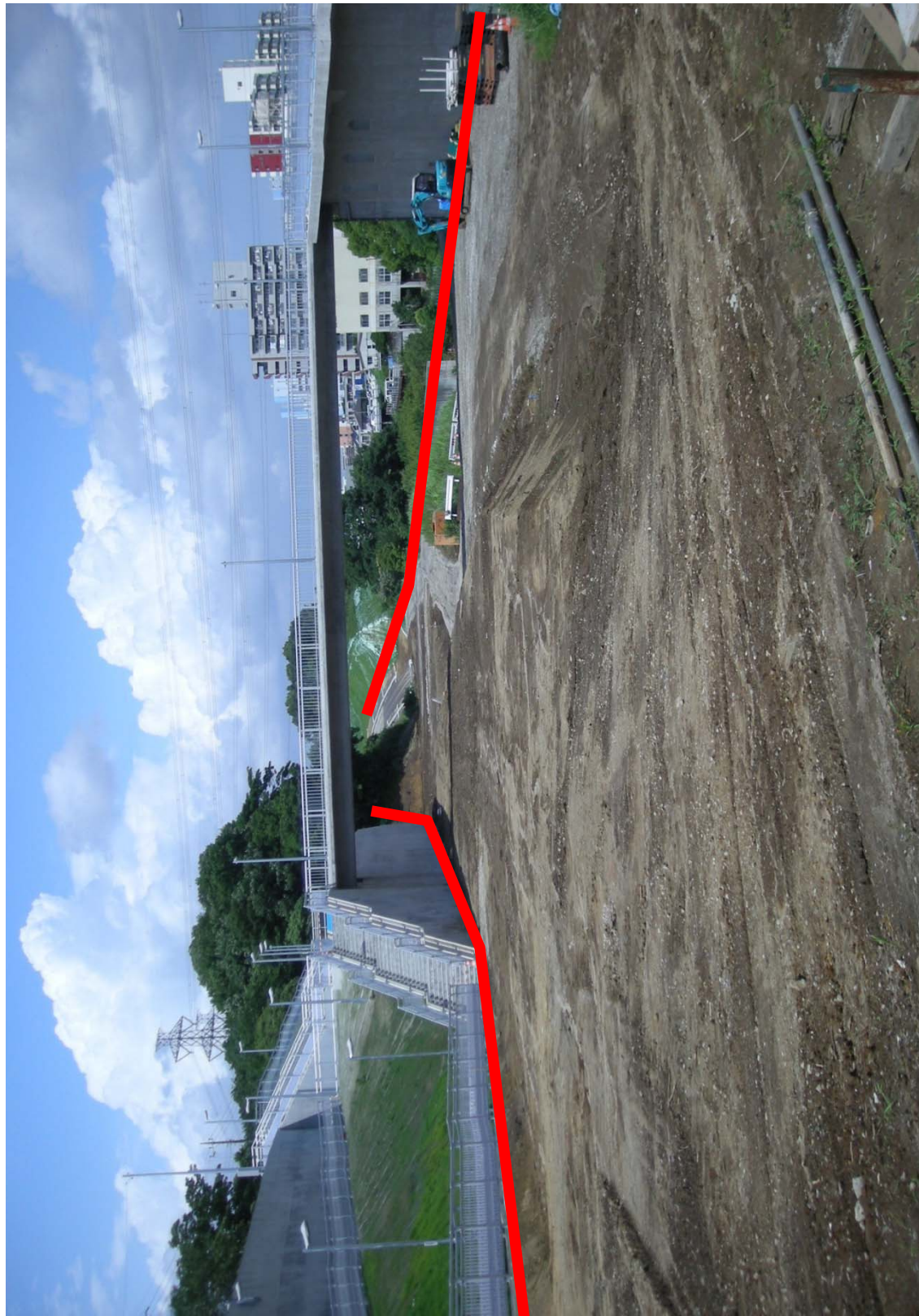
都市計画道路横浜藤沢線整備事業(上永谷地区 外1)



都市計画道路横浜藤沢線整備事業(上永谷地区 外1)



都市計画道路横浜藤沢線整備事業(上永谷地区 外1) ①



都市計画道路横浜藤沢線整備事業(上永谷地区 外1) ②



都市計画道路横浜藤沢線整備事業(上永谷地区 外1) ③



都市計画道路横浜藤沢線整備事業(上永谷地区 外1) ④



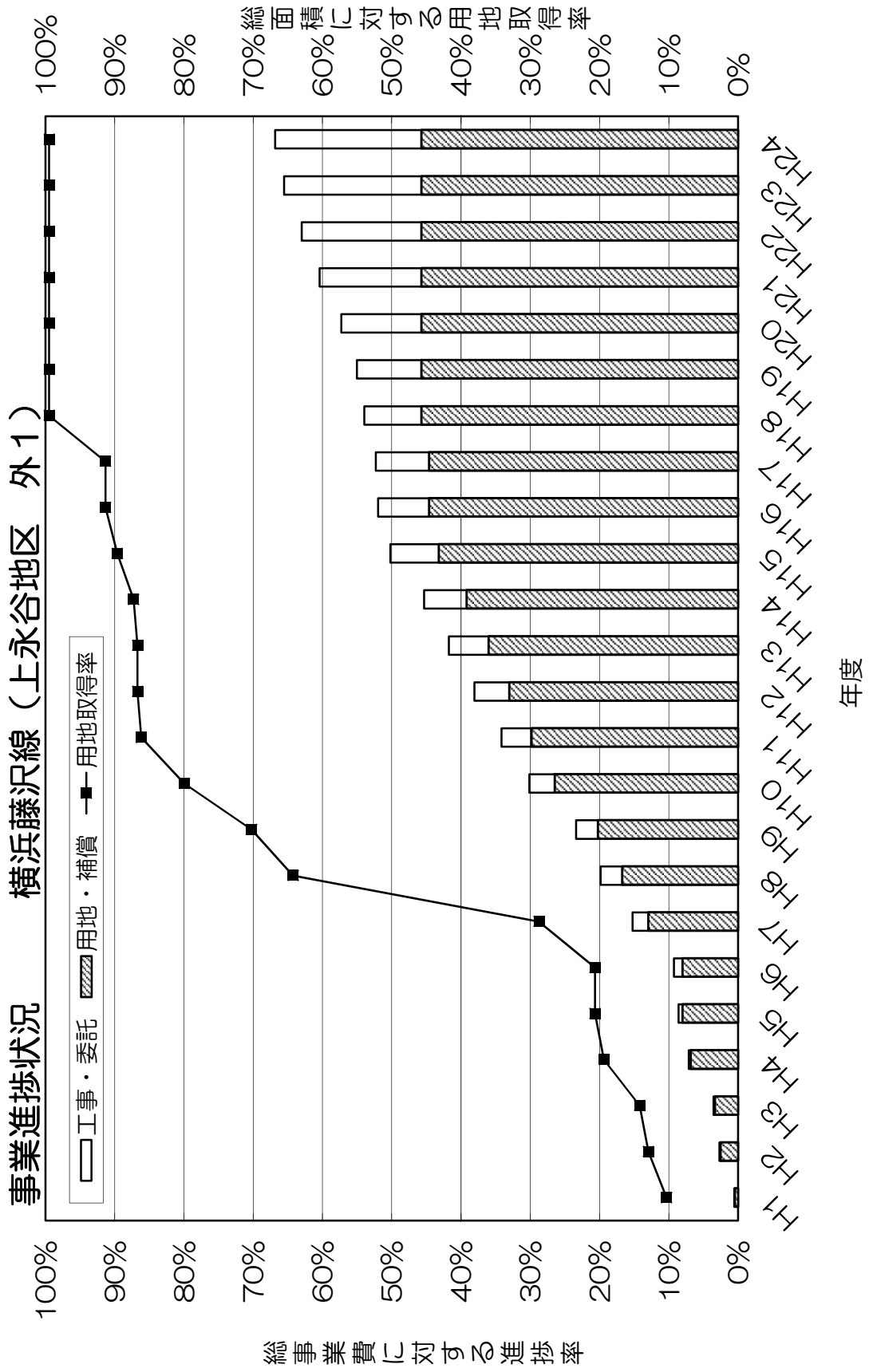
事業進捗状況

横浜藤沢線（上永谷地区 外1）

（単位：百万円）

年度	単年度事業費		累計事業費		事業進捗率			用地取得		
	合計	用地・補償	工事・委託	合計	合計※1	用地・補償※2	工事・委託※2	取得面積(m ²)	累計(m ²)	用地取得率※3
H1	106	98	8	106	0.5%	0.5%	0.0%	10,400	10,400	10.3%
H2	435	411	24	541	2.7%	2.5%	0.2%	2,638	13,038	12.9%
H3	171	165	6	712	3.5%	3.4%	0.2%	1,266	14,304	14.2%
H4	720	705	15	1,432	7.1%	6.9%	0.3%	5,184	19,488	19.3%
H5	297	237	60	1,729	8.6%	8.0%	0.6%	1,329	20,817	20.7%
H6	127	0	127	1,856	9.2%	8.0%	1.2%	0	20,817	20.7%
H7	1,203	993	210	3,059	15.2%	13.0%	2.2%	8,150	28,967	28.8%
H8	928	759	169	3,987	19.8%	16.8%	3.1%	35,755	64,722	64.3%
H9	710	700	10	4,697	23.4%	20.2%	3.1%	6,046	70,768	70.3%
H10	1,360	1,256	104	6,057	30.1%	26.5%	3.6%	9,785	80,553	80.0%
H11	812	677	135	6,869	34.2%	29.9%	4.3%	6,253	86,806	86.2%
H12	785	643	142	7,654	38.1%	33.1%	5.0%	541	87,347	86.7%
H13	741	598	143	8,395	41.8%	36.0%	5.7%	0	87,347	86.7%
H14	717	642	75	9,112	45.3%	39.2%	6.1%	573	87,920	87.3%
H15	983	808	175	10,095	50.2%	43.2%	7.0%	2,374	90,294	89.6%
H16	349	278	71	10,444	52.0%	44.6%	7.3%	1,725	92,019	91.4%
H17	67	0	67	10,511	52.3%	44.6%	7.7%	0	92,019	91.4%
H18	339	222	117	10,850	54.0%	45.7%	8.2%	8,189	100,208	99.5%
H19	216	0	216	11,066	55.0%	45.7%	9.3%	0	100,208	99.5%
H20	451	0	451	11,517	57.3%	45.7%	11.6%	0	100,208	99.5%
H21	631	0	631	12,148	60.4%	45.7%	14.7%	0	100,208	99.5%
H22	517	0	517	12,665	63.0%	45.7%	17.3%	0	100,208	99.5%
H23	514	0	514	13,179	65.6%	45.7%	19.8%	0	100,208	99.5%
H24	257	0	257	13,436	66.8%	45.7%	21.1%	0	100,208	99.5%
合計	10,120	6,583	3,537					71,241		

※1 事業進捗率（合計）は全体事業費（様式3参照）に占める各年度までの用地補償費と工事委託費の和
 ※2 事業進捗率（用地補償、工事委託）は全体事業費に占める各年度までの用地補償費もしくは工事委託費の割合
 ※3 用地取得率は事業全体の取得面積（様式3参照）に占める各年度までの取得面積の割合



前回再評価内容との比較 都市計画道路横浜藤沢線整備事業（上永谷地区 外1）

	前回 (H15、H17、H20)	今回 (H25)	5年間の経過
事業を巡る社会 経済情勢等の変 化	隣接する桂町戸塚遠藤線が供用開始し、環状 2号線や舞岡上郷線などの幹線道路と連絡し、 本市南部地域の交通の円滑化を図る上でも、本 路線の重要性が高まっています。	隣接する桂町戸塚遠藤線が供用開始し、環状 2号線や舞岡上郷線などの幹線道路と連絡し、 本市南部地域の交通の円滑化を図る上でも、本 路線の重要性が高まっています。 横浜藤沢線と接続する上永谷戸塚線が、平成 20年に取りまとめた「都市計画道路網の見直 しの素案」に基づき、一部区間を廃止しました。	・横浜藤沢線と接続する上永谷戸塚線が、平成 24年度に「都市計画道路網の見直しの素案」 に基づき、一部区間を廃止しました。
事業進捗率	71% (57%)	67%	+10%
用地取得率	99%	99%	±0%
供用等の状況	—	—	—
事業の 進捗見込	未取得用地は、当該地権者が事業に反対して おりませんが、今後は収用も視野に入れた交渉を 行い用地取得を進めます。 また、桂町戸塚遠藤線が供用開始し、そちら からの工事が可能となったため、今後は順次工 事を実施し、平成24年度に供用開始する予定 です。	本路線と交差する生活道路の橋梁化工事が 今年度完成する見込みであることから、今後は 順次工事を実施し、平成30年度に供用開始す る予定です。	平成21年度に歩道橋工事、並びに平成22 年度及び平成25年度に跨道橋工事がしゅん 工しました。 引き続き、本線の本格的工事着手を予定して います。

前回委員会での 主な意見等	特になし
------------------	------

※ 前回再評価から全体事業費が変更されている場合、前回時点での事業進捗率が変化してしまうため、参考として新事業費での事業進捗率を（ ）
で示した。